



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成30年度学校だより
第7号
平成30年9月28日

成長が実感できる 充実の秋に！

夏の初めに植えた志楽川沿いのコスモスが、雑草に負けずきれいな花をつけ、風に揺れています。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、ようやく過ごしやすい気候になりました。

今年は台風の接近が多く、強い雨や風により舞鶴を含め各地で多くの被害が出ています。また、9月6日に起きました北海道胆振東部地震では、大規模な山崩れが起こり多くの命を失うなど、大きな被害に見舞われました。昨今の災害には、常時の防災に向けての危機管理の必要性を感じるところです。9月3日の避難訓練では、休み時間中の地震、それに伴う火事を想定して、自分で判断し、動く訓練を行いました。一人一人が真剣に取り組む様子が見られましたが、今後も「備えよ、常に」を念頭に、自分の命を守る訓練を行っていきたいと考えています。

さて、2学期は行事が多くあります。それに向けて子どもたちは努力をして力を付けたり、協力して心をつないだりする充実した日々を送っています。2学期始めに子どもたちと交わした合言葉「きょうは、みそあじ」(協力、話を聞く・反応する、身だしなみ、掃除、あいさつ、時間)を意識して、がんばる姿が見られます。5年生の野外活動では、野外炊事、キャンプファイヤー、そして、カッター訓練と仲間と協力することの大切さを実感することができました。朝、大きな声で「おはようございます。」とあいさつできる子どもが少しずつ増えてきました。毎日のように行っている運動会の練習も集合時間を守ろうと声をかけ合う姿が見られます。「話を聞く」についても、集会などで全校が集まった時の、集中して静かに聞く態度は、意識の高さを感じます。このような子どもたちの育ちをしっかりとらえ、子どもたち自身が成長を実感できるよう、さらに伸ばしていきたいと職員で話し合っています。

10月は、運動会、持久走大会、そして、社会見学、生活科の町探検や川探検、総合的な学習の時間の出前授業、ふるさと学習など多くの行事の中で、体験する場を計画しています。多くのことを見たり聞いたりして、自分の世界を広げ、自分の可能性を切り拓く力につなげることができるようにしていきたいと考えています。一つ一つの体験が充実したものとなりますよう、ご家庭や地域の皆様の温かい見守りをお願いいたします。

校長 小森 昌子
教職員 一同



ことばタイム

2学期から毎週水曜日に15分間「ことばタイム」を設け、「ことば」に関するプリントで学習しています。学年に応じて、言葉の使い方を学んだり、楽しみながら言葉の数を増やしたりする問題を出しています。例えば、低学年では、「わ」と「は」・「お」と「を」・「え」と「へ」の使い分けの学習やしりとりをしながらゴールを目指す問題、中学年では「お父さんが寝ている様子を詳しくしてみ

ましよう」と「どのように」寝ているのかと
いろいろ考える問題やひらがなを並び替えて言葉にする問題、高学年では修飾語のはたらきを確かめる問題や一つの言葉から連想していくゲームなど、一人一人が「ことば」と向き合って取り組む時間にしています。お子さんからも様子を聞いていただき、連想ゲームなど一緒にしていただけませんか。